## 因幡電機産業株式会社

代表取締役社長 喜多 肇一 (コード番号 9934 東証プライム) 問合せ先

執行役員経営企画室長 玉垣 雅之 (TEL 06-4391-1781)

# (訂正)「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2023年5月15日に開示いたしました「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の 記載内容に一部訂正すべき箇所がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。 なお、数値データに訂正はございません。

記

#### 1. 訂正の理由

「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後に、3.連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)において、記載に誤りが判明したため、訂正するものであります。

## 2. 訂正の内容

「2023 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料 13 ページ及び 14 ページ 訂正箇所には、下線を付して表示しております。

# 添付資料13ページ及び14ページ

(セグメント情報)

#### 【訂正前】

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	連結財務	
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	合計	(注) 1	諸表計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	210, 615	39, 996	66, 335	316, 947	_	316, 947
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2, 038	1, 096	4, 200	7, 335	△7, 335	_
## <b>#</b>	212, 653	41, 093	70, 535	324, 283	△7, 335	316, 947
セグメント利益	9, 563	2, 113	12, 570	24, 248	△3, 164	21, 083
セグメント資産	96, 264	15, 553	36, 854	148, 673	96, 972	245, 646
セグメント負債	60, 793	8,770	14, 131	83, 695	10,786	94, 481
その他の項目						
減価償却費 (注) 3	143	19	1, 146	1, 309	521	1,830
受取利息	0	_	2	2	<u>42</u>	<u>44</u>
支払利息	1	0	64	66	△53	12
特別利益	0	0	15	17	865	882
特別損失	6	1	13	21	49	71
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	112	26	1, 137	1, 276	494	1, 771

## (注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

#### (1) セグメント利益

(1) - (1) -		
	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	87	96
全社損益※	△3, 830	△2, 894
その他の調整額	△438	△366
슴計	△4, 181	△3, 164

<sup>※</sup>全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外損益及び特別損益であります。

# (2) セグメント資産

(2) セグメント資産		(単位:百万円)
	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産※	105, 723	102, 897
その他の調整額	△4, 508	△5, 924
合計	101, 215	96, 972

<sup>※</sup>全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、本社土地建物及び投資有価証券であります。

(3) セグメント負債 (単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社負債※	18, 179	<u>16, 711</u>
その他の調整額	$\triangle 4$ , 502	△5, 924
合計	13, 677	<u>10, 786</u>

- ※全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない未払法人税等、預り保証金及び賞与引当金であります。
- (4) 減価償却費の調整額は、主にソフトウェアの減価償却費であります。
- (5) 特別利益の調整額は、前連結会計年度においては主に関係会社株式の売却益であり、当連結会計年度においては主に投資有価証券の売却益であります。
- (6) 特別損失の調整額は、前連結会計年度においては主に報告セグメントに帰属しない工具、器具及び備品等の除却に係る損失であり、当連結会計年度においては主に報告セグメントに帰属しないソフトウェア等の除却に係る損失であります。
- (7) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、前連結会計年度においては主に基幹系業務システム等の設備投資額であり、当連結会計年度においては主に本社の建物及び構築物の設備投資額であります。
- 2. セグメント利益は、連結損益計算書の税金等調整前当期純利益と調整を行っております。
- 3. 減価償却費には、長期前払費用の償却額が含まれております。

# 【訂正後】

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

(単位:百万円)

(単位:百万円)

(平位,日				-   · D /2   1/		
	報告セグメント			調整額	連結財務 諸表計上額	
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	合計	(注) 1	(注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	210, 615	39, 996	66, 335	316, 947	_	316, 947
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2, 038	1,096	4, 200	7, 335	△7, 335	ı
11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	212, 653	41, 093	70, 535	324, 283	△7, 335	316, 947
セグメント利益	9, 563	2, 113	12, 570	24, 248	△3, 164	21, 083
セグメント資産	96, 264	15, 553	36, 854	148, 673	96, 972	245, 646
セグメント負債	60, 793	8, 770	14, 131	83, 695	10,722	94, 417
その他の項目						
減価償却費 (注) 3	143	19	1, 146	1, 309	521	1,830
受取利息	0	_	2	2	44	<u>46</u>
支払利息	1	0	64	66	△53	12
特別利益	0	0	15	17	865	882
特別損失	6	1	13	21	49	71
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	112	26	1, 137	1, 276	494	1,771

## (注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

# (1) セグメント利益

	前連結会計年度	当連結会計年度	
セグメント間取引消去	87	96	
全社損益※	$\triangle 3,830$	△2, 894	
その他の調整額	△438	△366	
슴計	△4, 181	△3, 164	

<sup>※</sup>全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外損益及び特別損益であります。

## (2) セグメント資産

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産※	105, 723	102, 897
その他の調整額	$\triangle 4,508$	△5, 924
合計	101, 215	96, 972

<sup>※</sup>全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、本社土地建物及び投資有価証券であります。

(3) セグメント負債 (単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社負債※	18, 179	<u>16, 647</u>
その他の調整額	$\triangle 4,502$	△5, 924
合計	13, 677	10,722

- ※全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない未払法人税等、預り保証金及び賞与引当金であります。
- (4) 減価償却費の調整額は、主にソフトウェアの減価償却費であります。
- (5) 特別利益の調整額は、前連結会計年度においては主に関係会社株式の売却益であり、当連結会計年度においては主に投資有価証券の売却益であります。
- (6) 特別損失の調整額は、前連結会計年度においては主に報告セグメントに帰属しない工具、器具及び備品等の除却に係る損失であり、当連結会計年度においては主に報告セグメントに帰属しないソフトウェア等の除却に係る損失であります。
- (7) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、前連結会計年度においては主に基幹系業務システム等の設備投資額であり、当連結会計年度においては主に本社の建物及び構築物の設備投資額であります。
- 2. セグメント利益は、連結損益計算書の税金等調整前当期純利益と調整を行っております。
- 3. 減価償却費には、長期前払費用の償却額が含まれております。

以上